

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4250
'22年5月20日(金)
Tel・Fax 095-828-1953

闇区って何？ 悪いのは呼び方？ 闇区解消！ 狙いは混合区の削減？

おはようございます。

「闇」と言う言葉、どんなことを思いますか？
何んとなく「ダーク」なイメージがありますね、「闇〇〇」で思いつづの「闇金・闇サイト・闇取引・闇バイト、どれも不正に行うもの正式・公然で出来ないものと言う感じですか。良い意味でつかわれることは少ないです。

この「闇〇〇」と呼ばれるものが郵便局にもあるそうです。それは「闇区」。闇の配達区という感じで確かに響きは良くないですね。この闇区が他のダークなものと一緒にだすとすると、支社・本社に承認されていない配達区を現場で勝手に要員を増配置している、みたいな感じでしょうか。

長中局でも先月の課長・班長会議で闇区解消がテーマとなったそうで

す。各部では「通配区への埋め込み(戻し)」を基本として闇区解消に向け話し合いを行っています。では長中局の業務運行はうまくいっていないのでしょうか？

長中局で闇区と言われるものは、混合担務者が業務の手すき時間に通配区の補助に入るというものです。各部とも対面郵便物・ゆうパックなどを通配区で極力兼配することで混合担務の業務量を減らし、確保できた時間を困難区などの応援(補助)に充てています。承認された配達区以上の要員配置などは行わず「互助共援」を進めるなど各班で知恵を絞ってできたものです。ダークなイメージの闇区ではありませんが、支部では今後は「補助に入る可能性がある地域」補助地域」と呼びたいと思います。

近年は再開発に伴い都心エリア(長崎市で言えば電車通り周辺の地区)



にマンションが林立し、町のエリアと斜面地域では通配区の配達箇所数・業務量にアンバランスが大きくなってきました。しかし斜面地域では配達箇所数が多少減ったからと言って業務量、特に配達時間は大きく変わらな

にマンションが林立し、町のエリアと斜面地域では通配区の配達箇所数・業務量にアンバランスが大きくなってきました。しかし斜面地域では配達箇所数が多少減ったからと言って業務量、特に配達時間は大きく変わらな



班長が混合担務についても通配区の配達応援に追われ班長業務や部下の指導・営業等の時間が取れないという意見は聞いたことがあります。確かに通常郵便の配達は通配区から行うのが前提と言うのは正論ですが、前述の世帯数急増に伴い時間内の配達が困難となった区への対応として、補助地域を設定したという班も多いです。

今回の解消では、速達・レターパックなどを兼配していた郵便物などを混合区に戻し、通配区の配達にかかる時間を減らすことで通配区への埋め込み分を吸収しようという意見も聞きます。対面する郵便物は混合区から配達し、通配区は通常郵便だけ配達する以前実施されていた「2ネット」配達方式のような形でしょうか。「2ネット」は混合者の配達エリアが広く負担が大きいこと。通常郵便とレターパックや書類を別々に配達するため事業所に不評だったと記憶があります。うまく機能すればよいのですが

昨年10月の郵便サービス見直し・土曜日休配は、通配区のアンバランスを見直す良いチャンスでした。部全体で班の垣根を越えてでも平均化と効率化を図るのが理想でしたが、そこまでの方針が示されなかったことから、各班で一筆書き化、増配置日のエリア確定、各通配区の平均化さらに区分口内の所帯数平均化などを進めました。スタートから半年が経ち、ようやく新しい体制になれてきたこの時期になぜ、通配区の見直しが必須となる闇区解消を打ち出したのでしょうか。

補助地域を無くせば、通配区の負担が増えることは必至です。この事で交通事故や誤配などの要因となる「焦り」を誘発させるのではないのでしょうか。



補助地域を解消する目的や通配区に戻せるのはという根拠の他、通配区の増区が認められるのか、また軽減された混合担務の見直し削減につながるのではないかと、現場では疑問だらけで積極的に進めたいという意見はほとんど聞かれませんが



私には今回の「闇区」解消は必要性を感じません。響きが悪いのなら、「闇区と呼ぶな」、だけで済むことです。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員を正社員化を。

ゆげが、均等待遇、なげんを差別し。

ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！

